

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月12日

上場会社名 株式会社 安永 上場取引所 東
 コード番号 7271 URL <https://www.fine-yasunaga.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安永 暁俊
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 北村 直紀 TEL 0595-24-2122
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

百万円未満切捨て

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	6,896	△7.0	58	△70.8	122	△51.4	60	△62.1
2022年3月期第1四半期	7,413	37.0	200	—	252	—	158	—

（注）包括利益 2023年3月期第1四半期 629百万円（24.5%） 2022年3月期第1四半期 505百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	5.02	—
2022年3月期第1四半期	13.25	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	32,806	8,800	26.8
2022年3月期	31,659	8,206	25.9

（参考）自己資本 2023年3月期第1四半期 8,799百万円 2022年3月期 8,206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	5.00	—	3.00	8.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	5.00	—	5.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	10.2	900	—	900	—	850	—	71.05

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	12,938,639株	2022年3月期	12,938,639株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	975,309株	2022年3月期	975,309株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	11,963,330株	2022年3月期1Q	11,963,330株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大が一服し、経済活動が正常化に向かう一方で、ロシアによるウクライナ侵攻を受けた世界的な資源価格高騰の加速、さらには急速な円安の進行などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主要販売先である自動車業界は、長期化する半導体不足や上海の都市封鎖を受けたサプライチェーンの停滞などに伴う生産調整が相次ぐなど、未だ挽回生産には至っていない状況です。

このような企業環境下、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高68億96百万円（前年同期比7.0%減少）、営業利益58百万円（前年同期比70.8%減少）、経常利益1億22百万円（前年同期比51.4%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益60百万円（前年同期比62.1%減少）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(エンジン部品事業)

長期化する半導体不足の影響等による自動車メーカーの生産調整により、国内生産は低調に推移しました。一方、海外拠点においては、売上は回復しているものの、プロダクトミックス等により利益は減少しました。その結果、売上高52億37百万円（前年同期比4.7%減少）、営業利益1億32百万円（前年同期比60.7%減少）となりました。

(機械装置事業)

検査測定装置の売上は増加したものの、工作機械及びワイヤソーの売上は顧客の設備投資の延期等もあり減少しました。一方、利益面では、工作機械の採算性改善や原価低減活動等により赤字幅は縮小しました。その結果、売上高5億80百万円（前年同期比20.5%減少）、営業損失1億54百万円（前年同期は営業損失1億78百万円）となりました。

(環境機器事業)

エアーポンプ、ディスポーザシステムとも売上は減少しましたが、原価低減活動等により利益は良化しました。その結果、売上高10億11百万円（前年同期比9.0%減少）、営業利益72百万円（前年同期比34.7%増加）となりました。

(その他の事業)

当セグメントには、運輸事業及びサービス事業を含んでおります。

売上高67百万円（前年同期比12.9%減少）、営業利益3百万円（前年同期は営業損失19百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ11億47百万円（前連結会計年度末比3.6%）増加し、328億6百万円となりました。

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ7億70百万円（前連結会計年度末比4.3%）増加し、187億47百万円となりました。

この増加の主な要因は、仕掛品の増加7億39百万円、商品及び製品の増加2億63百万円等によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ3億76百万円（前連結会計年度末比2.8%）増加し、140億59百万円となりました。

この増加の主な要因は、有形固定資産の増加3億37百万円等によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ5億12百万円（前連結会計年度末比3.2%）増加し、165億29百万円となりました。

この増加の主な要因は、短期借入金の増加4億円等によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ41百万円（前連結会計年度末比0.6%）増加し、74億76百万円となりました。

この増加の主な要因は、退職給付に係る負債の増加26百万円、長期借入金の増加21百万円等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ5億93百万円（前連結会計年度末比7.2%）増加し、88億円となりました。

この増加の主な要因は、為替換算調整勘定の増加5億59百万円や利益剰余金の増加24百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,526	3,969
受取手形及び売掛金	4,695	4,620
電子記録債権	878	1,070
商品及び製品	2,531	2,794
仕掛品	2,261	3,000
原材料及び貯蔵品	1,960	2,065
未収入金	335	207
その他	788	1,018
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	17,976	18,747
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,849	12,028
減価償却累計額	△7,949	△8,081
建物及び構築物（純額）	3,899	3,946
機械装置及び運搬具	30,136	30,691
減価償却累計額	△25,107	△25,795
機械装置及び運搬具（純額）	5,028	4,895
工具、器具及び備品	5,423	5,393
減価償却累計額	△4,995	△4,999
工具、器具及び備品（純額）	427	393
リース資産	267	360
減価償却累計額	△168	△178
リース資産（純額）	98	182
使用権資産	108	146
減価償却累計額	△40	△68
使用権資産（純額）	67	78
土地	2,256	2,282
建設仮勘定	727	1,065
有形固定資産合計	12,506	12,843
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	613	620
退職給付に係る資産	86	135
繰延税金資産	32	30
その他	302	295
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	1,030	1,079
固定資産合計	13,682	14,059
資産合計	31,659	32,806

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,162	3,415
電子記録債務	626	523
短期借入金	6,100	6,500
1年内返済予定の長期借入金	3,048	3,122
未払金	2,034	1,851
リース債務	40	41
リース負債	23	23
未払法人税等	38	61
賞与引当金	350	162
工事損失引当金	51	53
設備関係支払手形	2	—
その他	535	774
流動負債合計	16,016	16,529
固定負債		
長期借入金	6,111	6,133
長期末払金	151	141
リース債務	190	180
リース負債	48	56
繰延税金負債	351	354
役員退職慰労引当金	52	53
退職給付に係る負債	455	481
資産除去債務	74	74
固定負債合計	7,435	7,476
負債合計	23,452	24,006
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142	2,142
資本剰余金	2,114	2,114
利益剰余金	3,989	4,013
自己株式	△330	△330
株主資本合計	7,915	7,939
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	209	213
繰延ヘッジ損益	△18	△4
為替換算調整勘定	△65	494
退職給付に係る調整累計額	164	155
その他の包括利益累計額合計	290	859
非支配株主持分	0	0
純資産合計	8,206	8,800
負債純資産合計	31,659	32,806

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	7,413	6,896
売上原価	6,378	5,994
売上総利益	1,034	902
販売費及び一般管理費	833	843
営業利益	200	58
営業外収益		
受取利息	6	2
受取配当金	0	0
為替差益	63	77
受取賃貸料	4	4
その他	11	8
営業外収益合計	85	94
営業外費用		
支払利息	21	24
減価償却費	—	4
支払手数料	7	—
その他	5	1
営業外費用合計	33	29
経常利益	252	122
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	252	122
法人税、住民税及び事業税	38	76
法人税等調整額	55	△13
法人税等合計	94	62
四半期純利益	158	60
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	158	60

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	158	60
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	3
繰延ヘッジ損益	13	13
為替換算調整勘定	313	559
退職給付に係る調整額	2	△8
その他の包括利益合計	346	569
四半期包括利益	505	629
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	505	629
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,494	730	1,110	7,335	77	7,413	—	7,413
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	9	—	9	115	125	△125	—
計	5,494	739	1,110	7,345	193	7,538	△125	7,413
セグメント利益又は損失(△)	336	△178	54	212	△19	192	8	200

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額8百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	エンジン 部品	機械装置	環境機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,237	580	1,011	6,829	67	6,896	—	6,896
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	145	—	145	120	266	△266	—
計	5,237	726	1,011	6,974	188	7,162	△266	6,896
セグメント利益又は損失(△)	132	△154	72	50	3	53	4	58

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸事業、サービス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額4百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。